



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

令和2年1月31日(金)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 永井 美奈子

豊二小だより 2月号

挨拶は、心と心をつなぐ魔法の言葉

副校長 栗本 広明

挨拶のスタートは、家庭から始まります。朝起きたら、家族に「おはよう」、朝食前に「いただきます」、家を出る時に「行ってきます」の挨拶が交わされます。また、近くの友達に「おはよう」、学童擁護や地域の方にも「おはようございます」の挨拶をします。学校で行う先生や他の友達への挨拶は、朝起きてから何回目になるでしょうか。

何気ないふだんの行動であると思うのですが、果たしてきちんとと言えることができていますでしょうか。中には、もじもじしながら通り過ぎていく子も見られます。子供たちと朝会った時、「おはよう」「おはようございます」の挨拶を交わしてくれると、とても心が和み、温かい気分になります。

どの子も挨拶を交わすと気持ちがよいことは、知っています。でもちょっと照れくさかったり、面倒だったり、相手が挨拶してくれるのか不安だったりして、自分からはできないこともあります。挨拶はコミュニケーションの入り口ですが、コミュニケーションには、エネルギーが必要です。私は挨拶の苦手な子に、「自分からできるようになるといいね」という思いを込めて積極的に声をかけ、挨拶するようにしています。子供たちは、自分に挨拶をされることで、「自分を見ていてくれる、大事に思っていてくれる」と感じるのではないかと思います。そのような毎日の挨拶を通して、子供たちに関心を寄せていくことが、子供たちの心に安心感や自信をもたせることにもつながり、自分から挨拶できる子になっていくと思うのです。

さらに、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるような『人権感覚』は、こうした心と心をふれ合わせようとする日々の生活の中でこそ磨かれ、生まれていくのではないのでしょうか。挨拶は、心と心をつなぐ魔法の言葉です。

1月15日(火)～2月8日(土)まで、高学年の児童が中心となって校門であいさつ運動を実施中です。子供たちを見かけましたら、声をかけていただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。

【次年度に関すること】

本校は、令和2年11月21日(土)に80周年式典・祝賀会を予定しております。昨年9月に準備委員会を立ち上げました。2月には、拡大準備委員会も予定しております。今後、定期的に「周年だより」を発行する予定です。保護者・地域の皆様方には、いろいろとお願いすることもあると思いますが、御協力をよろしくお願いいたします。また、次の2点が大きく変わります。御理解の程、どうぞよろしくお願いいたします。

- ① 教師が子供たちと余裕をもって向き合う時間を確保するために、年間の行事について見直しを図りました。これまで同じ年に実施していた音楽発表会と展覧会をそれぞれ別の年に開催して、3サイクルにいたします。(令和2年度は音楽会、令和3年度は展覧会、令和4年度は学芸会)
- ② 2学級以上の学年では、毎年学級編成を行います。これまで学級編成は3学年と5学年の進級時に行い、原則として子供たちは2年間同じ学級で過ごしてきました。しかし、1年間で子供たちは大きく成長し、学級集団の様相も変化します。担任は持ち上がりを原則にせず、1年間のスパンで学級経営に全力で臨みます。